

令和4年度金属資源プロセス研究センターシンポジウム

## カーボンニュートラルが求められる鉄鋼業の動向

主催：東北大学多元物質科学研究所金属資源プロセス研究センター

共催：日本鉄鋼協会東北支部

協賛：日本金属学会東北支部

主旨：現在 CO<sub>2</sub> 排出削減は全産業の課題であり、鉄鋼業においても脱炭素を目標として転換期を迎えています。これまで、鉄鋼業では国家プロジェクトや様々な枠組みで、低炭素化への研究開発が行われてきました。同時に、関連する基礎研究も学術的に行われており、同じ目標に対して、数多くの異なるアプローチが進展しています。産学での取り組みを互いに理解し、今後のカーボンニュートラル製鉄に向けて、今アカデミアに必要とされる研究は何か？をディスカッションする場を設けるために本シンポジウムを開催します。

### 記

日時：2022年10月26日（水） 10:00-17:00

場所：東北大学多元物質科学研究所 さくらホール

#### 【プログラム】

- |             |  |                 |                  |
|-------------|--|-----------------|------------------|
| 10:00-10:10 | 開会挨拶   | 多元物質科学研究所所長     | 寺内 正己            |
| 10:20-11:00 | 日本鉄鋼業におけるカーボンニュートラルへの取り組みと課題                             | 日本製鉄            | 村上 英樹            |
| 11:00-11:40 | 社会基盤金属素材のフローに伴うマイナー元素の問題                                 | 東北大学            | 大野 肇・盧鑫<br>長坂 徹也 |
| 13:00-13:40 | JFE スチールにおけるカーボンニュートラルへの取り組みとカーボンニュートラル製鉄プロセスにおける製鋼技術の課題 | JFE スチール        | 岸本 康夫            |
| 13:40-14:20 | KOBELCO グループにおけるカーボンニュートラルに向けた取り組み                       | 神戸製鋼所           | 坂本 浩一            |
| 14:40-15:20 | 鉄スクラップの利用促進と今後の課題  | 東京大学            | 醍醐 市朗            |
| 15:20-16:00 | 電気炉製鋼設備の動向について   | 大同特殊鋼           | 堀 哲              |
| 16:00-16:40 | 鉄鋼カーボンニュートラル：<br>国際機関・各国政府・業界団体等の動向と日本鉄鋼協会の取り組み          | 日本鉄鋼協会          | 小澤 純夫            |
| 16:40-16:50 | 総合討論   |                 |                  |
| 16:50-17:00 | 閉会挨拶   | 金属資源プロセス研究センター長 | 本間 格             |

【参加申込について】

参加費：無料

参加申込 URL <https://forms.gle/16YDB9TjvT591LE8>

申込締め切り：2022年10月18日（火）17：00

問い合わせ先：東北大学多元物質科学研究所 植田滋

E-mail：[tie@tohoku.ac.jp](mailto:tie@tohoku.ac.jp)

TEL：022-217-5144